

## 英語科

教科名	外国語	科目名	英語ベーシック
科目の目標	さまざまな分野の英語を通じて4技能(聞く・書く・読む・話す)のバランスのとれた、よりハイレベルな英語力の向上を目指す。		
履修学年	2年	類型	文型・理型
単位数	2単位	授業形態	必修
教科書	リンゲージ英語構文100 総合演習ワーク	副教材等	Focus on Listening Standard

### ①学習の目標

日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして

### ②学習内容と授業の進め方

- (1) 英文の構造及び情報を理解し、自分の考えや意見を整理して書ける力を習得する。
- (2) 特に、問題演習・エッセイライティングに取り組むことを通して「書く技能」の伸長を図る。

### ③学習に当たっての留意点

家庭学習等で学習内容の定着を図ること。

### ④評価の観点

- (1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度  
コミュニケーションに関心を持ち、英語で書く言語活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうとする。
- (2) 外国語理解の能力  
英語の背景にある論理展開を理解し、それによって思考し、判断ができる。
- (3) 外国語表現の能力  
日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。
- (4) 言語や文化についての知識・理解  
コミュニケーションを実現するために必要な構文・語彙の使い方を理解している。

### ⑤評価の方法

基本的に次の項目を総合して評価する。

- (1) 定期考査の結果
- (2) 課題の取り組み状況
- (3) 小テスト・確認テスト等の結果
- (4) 言語活動の取り組み状況

### ⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	11 比較	比較構文を様々な言語活動を通して活用し、習得する。 4技能試験対策活動	・前期中間考査の結果(知識・理解・理解) ・課題の取り組み状況(表現、関心意欲態度) ・小テスト等の結果(知識理解、理解) ・言語活動の取り組み状況(関心意欲態度、表現)
5	5 仮定法	仮定法を用いた構文を様々な言語活動を通して活用し、習得する。 4技能試験対策活動	
6	1/2/3 文型	文型を理解し、言語活動を通して活用し、習得する。 4技能試験対策活動	・前期期末考査の結果(知識・理解、理解) ・課題の取り組み状況(表現、関心意欲態度) ・小テスト等の結果(知識理解、理解) ・言語活動の取り組み状況(関心意欲態度、表現)
7	4 受動態・助動詞	受動態、助動詞を含む構文を様々な言語活動を通して活用し、習得 4技能試験対策活動	
8	6 不定詞	不定詞を様々な言語活動を通して活用し、習得する。 4技能試験対策活動	
9	7 分詞・動名詞	分詞を様々な言語活動を通して活用し、習得する。 動名詞を含む構文を様々な言語活動を通して活用し、習得する。 4技能試験対策活動	・後期中間考査の結果(知識・理解、理解) ・課題の取り組み状況(表現、関心意欲態度) ・小テスト等の結果(知識理解、理解) ・言語活動の取り組み状況(関心意欲態度、表現)
10	8 名詞節 9 形容詞節	名詞節を用いた構文を様々な言語活動を通して活用し、習得する。 形容詞節を用いた構文を様々な言語活動を通して活用し、習得する。 4技能試験対策活動	
11	10 副詞節	副詞節を用いた構文を様々な言語活動を通して活用し、習得する。 4技能試験対策活動	
12	12 否定	否定表現を含む構文を様々な言語活動を通して活用し、習得する。 4技能試験対策活動	・後期期末考査の結果(知識・理解、理解) ・課題の取り組み状況(表現、関心意欲態度) ・小テスト等の結果(知識理解、理解) ・言語活動の取り組み状況(関心意欲態度、表現)
2	13 強調	強調構文をさまざまな言語活動を通して活用し、習得する。 4技能試験対策活動	
3	14 倒置・省略	倒置・省略を用いた構文をさまざまな言語活動を通して活用し、習得 4技能試験対策活動	